

外務省所管 令和2年度補正予算（第3号）における「個別プロジェクトにイヤマークした任意拠出金」の成果目標一覧
（主にコンセプト・ノートに基づく暫定版）

（注意事項）

- ① 現段階の成果目標は、暫定的に外務省限りで作成したため、今後、相手国政府または国際機関等からの最新の情勢等に基づいた要請により、内容に変更が生じる場合がある。
② 追加予算額は「億円」単位とし、原則としてそれぞれ小数点第2位を四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 （暫定版）
Gavi を通じたCOVAXファシリティのワクチン事前買取制度への拠出	新型コロナウイルス感染症の収束に向けた対策のため、COVAXファシリティの途上国向け枠組みである「ワクチン事前買取制度（AMC）」への拠出を通じて、途上国に迅速にワクチンが普及するよう、支援を行う。	Gavi ワクチンアライアンス [合計 99.0 億円]	・企業がワクチン開発に成功し、製造した後、Gavi が一定量を買収することを保証することによって、ワクチン開発と製造能力拡張を促進する。 ・COVAXファシリティが需要をとりまとめてワクチン製造企業と交渉することを通じて、ワクチン価格を引き下げる。 ・ドナーによる拠出金によってワクチン実用化後における途上国の購入費用の一部を負担することで、途上国が負担する費用を抑制し、ワクチン普及を支援。 ・途上国におけるワクチン供給体制を強化する（ワクチンを確実に届けるためのコールドチェーンの整備・流通網の改善、接種対象者の年齢や性別等のデータや予防接種記録の整備、サーベイランスの強化、COVID-19 ワクチンの接種回数・対象等に関する予防接種人材の育成等）。